

誇らしきご主人様、
本当にここで
致すのですか？

かしこまりました。
私は誇らしきご主人様に、
この体を捧げた身。

ご主人様のご要望でしたら、
シリアスは何でもお応えいたします

ドッキ♡

ドッキ♡



ああ、誇らしきご主人様…
とてもご立派でございます…♡

シリアスの体で、こんなにも
興奮していただけるなんて…♡

ブキ♡

ブキ♡

ビク

ビク



はい、シリアスもこれ以上我慢できません…♡

どうかこの卑しいメイドに、ご主人様のお情けをお与えください…♡

ドキ♡

ドキ♡

ドキ♡

ドキ♡

ビッ♡

ビッ♡



ご主人様のつ、
シリアスの奥に当たって……♡
あっ、んっ、気持ちいいです……♡

子宮の入口まで、
んっ、届いてる……っ、
ご主人様のおちんちんが、
私の子宮にキスしてます……♡

あっ♡
♡♡♡

あっ♡
♡♡♡

トッ♡

トッ♡

っ♡
っ♡

っ♡
っ♡

っ♡
っ♡

っ♡
っ♡

誇らしきご主人様……っ♡
シリアスの膣内は、んっ♡
どうですか……？♡

シリアスの体、
ご主人様の前だと
熱くなっちゃうんです……♡

あ♡
あ♡
あ♡

あ♡
あ♡
あ♡

んっ♡

んっ♡

んっ♡
んっ♡

んっ♡
んっ♡

んっ♡
んっ♡
んっ♡



ご主人様、
おっぱいも触って
ください……♡

ご主人様の体温、
もつとシリアスの体に
感じさせて……♡

あ♡♡♡

あ♡♡♡

ふんふん♡

ん♡♡

ん♡

ん♡

ん♡♡

ん♡♡

ん♡♡

ひゃんっ!♡
ご主人様……、
あんっ、あ……っ♡

ご主人様あ……っ、
もつと強く
揉んでください……っ♡

ビクッ

ひゅ♡

ん♡

ムム

ムム

ムム

ムム

トッ♡

トッ♡

ムム

ムム



はあ……っ、んっ、あっ♡
ごしゅじんさまあ……っ♡

お慕いして、あります……♡
シリアスを、ずっとおそばに
おいてください……っ♡

ひゅう♡

ん♡

トロ♡

ん♡

ん♡

ん♡

ん♡

トロ♡

トロ♡

ん♡

ん♡



あっ、ああっ……♡
んっ、ご主人様っ♡
ごしゅじんさまあっ！♡

ごしゅじんさまあっ！
好きですっ、大好きです！♡

出してっ！♡シリアスの中に
いっぱいくださいっ！♡♡





ああっ♡……
ご主人様の熱いのが……
いっぱい出てます……♡

お腹の中、ご主人様で
満たされて……♡
幸せ、です……♡

ゾク

ゾク

はっ♡

はっ♡

はっ♡

ビュ

ドゴッ♡

ビュルル〜♡

ドゴッ♡





ん♡♡♡♡♡

ズル♡...

ゴブ♡♡♡

♡

♡
♡
♡
♡

♡

♡

♡
♡

♡
♡



ああ……♡
誇らしきご主人様の
子種がこんなに沢山……♡

随分と溜めて、
いらっしやっただのですね……♡

はー♡

はー♡

ぎゅん♡

ぎゅん♡

ゴボ♡

ゴブ♡





























